

新型コロナ 影響大きく

新型コロナウイルスの感染拡大が本学にも多岐にわたる影響を及ぼしている。卒業式や入学式といった大きな行事が軒並み中止になったほか、新年度の授業開始はほぼ全ての学部で繰り下げに。博物館などは休館が続く。本学構成員の感染者は22日時点で2人確認されている。(関連記事2面)



祝日だが人影はまばらだった(3月20日午後2時ごろ)

卒業式・入学式中止

本学は新型コロナウイルスの感染が北海道で広がるなか、イレギュラーな対応を次々と打ち出してきた。感染拡大を防ぐため卒業式、入学式を中止。少なくとも2004年度以降、両式典が中止になったことはなく異例の措置だ。

一般入試後期日程では2次試験を取りやめ、初めて大学入試センター試験の成績のみで可否を判定した。合格発表も前・後期ともにウェブサイトのみの掲載に切り替え、恒例となっていた合格番号の掲示板前での胸上げの中止を余儀なくされた。

本学では3月4日に大学

一般入試、2677人合格

入学は2553人 道外出身64%

本学は3月7日に前期、20日に後期の一般入試合格者を発表した。合格者は前期が2002人、後期が675人の計2677人だった。新型コロナウイルスの影響から、本学は後期入試の2次試験を中止し、センター試験の成績のみで可否を決定。前・後期合格者の受験番号の掲示も中止した。

前期入試の合格者のうち現役生の割合は64.0%(1282人)で、ここ5年間で一番高かった。2021年度から入試制度が変わるため受験者の安全志向が強まった影響とみられる。

最終的な入学者数は2553人で、そのうち道内高校出身者が842人となり33.0%を占めた。道外は

1989年度以降最高だった昨年度から1.4ポイント下がり64.5%(1647人)だった。

◆合格者の声

雰囲気味わおうと、発表当日に本学構内でウェブサイトに上の合格発表を見た受験者も。総合入試理系で行ったが、中止は仕方ない」と話した。

道路補修始まる 6月まで 東京五輪マラソン



大型の路面切削機で削った(16日、北図書館付近)

来年に延期された東京五輪のマラソンに向けた道路補修工事が12日、始まった。本学構内は約2キロがマラソンコースに含まれており、競技に支障がないように整える。

工事は道路の切削に始まり、16日には南北に伸びるメインストリート(約1キロ)の道路表面を3センチほどの厚さで削っていった。

切削の後には舗装工事などが控える。工事を委託している札幌市によると、6月半ばをメドに終了する予定という。

事務局で働く60代の男性職員が感染が判明。4月8日にも北海道大学病院に勤める40代の男性医師の感染が確認された。本学構成員の感染者は22日午前時点でこの2人となっている。

国内での感染拡大を受け、本学は16日、全学共通の行動指針(BCP)を策定し、感染の状況などに基づくレベルに応じた対応を定めた。制限のレベルは4段階で、研究活動や授業のほか、学生の課外活動、事務体制、会議の対応を示す。

22日時点では政府の緊急事態宣言に基づく緊急事態措置が北海道知事から出されているためレベル3に該当するとしている。BCPにより、研究活動は大幅に制限され、授業はオンラインのみ。学生は学内のインターネット設備の利用もでき

きない。また、職員は17日から半数以上が在宅勤務に順次切り替えた。

新学期的授業は獣医学部以外の学部で開始日の繰り下げが決まっている。新入生が受ける全学教育をはじめ、文学部や理学部など大半の学部では大型連休明けに授業を始める。本学は「ウイルスの感染拡大状況を考慮した」(広報課)と話す。

新入生は極めて異例の門出を迎えることになった。入学式は行われず、授業はオンラインになり、同級生との顔合わせのメドは立っていない。学生証も郵送で受け取った。また政府の緊急事態宣言を受け、本学は道外にいる新入生について、札幌への移動を控えるよう呼び掛けている。

施設の休館も相次ぐ。付属図書館の本館・北図書館

は18日から当分の間、臨時休館となった。これまでは会話を禁止にするなどの措置を取った上で開館してきたが、政府の緊急事態宣言により決めた。総合博物館も2月末から閉館している。

◇

生活健康学が専門の本学教育学研究員の山仲勇二郎准教授は、外出自粛に伴って生活リズムが乱れないよう、注意を呼びかけている。山仲准教授は健康維持のためのポイントを挙げており、①朝起きたら太陽光を浴びる②朝食はよく噛んでしっかり食べる③メリハリをつけた生活を送る④夕食が遅くならないよう注意する⑤夜は部屋をできるだけ暗くして、眠くなった後布団に入る――の5つだ。詳細は山仲准教授の研究室のホームページで公開中。



小・中・高 受験指導・開放指導
THE POWER OF 学習塾
学助会
gakujyokai.maruyama@gmail.com

学助会札幌円山本部は――
北大新聞
推し。

5月号
無料 [Take free]
＜編集・発行＞
北海道大学新聞編集部
＜ウェブサイト＞
「THE MAINSTREET」
hokudaishinbun.com
QRコード
ウェブサイト
Twitter (@HokudaishinBun)
次の発行予定は6月(ウェブ上)

CONTENTS	
新型コロナウイルス影響 遠隔授業の準備進む	…2面
学位記4531人に	…2面
ニュースDIGEST	…2面
元総長・丹保憲仁氏に 聞く	…3面
部活・サークル紹介	…4・5面
教養棟の歴史に迫る 【#北大discover】	…7面
【北大人に聞く】 三浦雄一郎さん	…8面

資格の大原 札幌校 2019年 公務員試験最終合格実績

2020年1月7日現在

札幌市
(大学の部)

44名

国家
一般職

(大卒程度試験 行政北海道)

127名

国税
専門官

(試験地 札幌)

68名

裁判所職員
一般職

(大卒程度区分 札幌高等裁判所管内)

35名

…他、多数合格!

※大原札幌校コース生とは、資格の大原札幌校の公務員講座および警察官・消防官講座(合格目標年度の公務員採用試験に合格するための授業、模擬試験等がすべて含まれたコース)で学習された方を対象としています。
※同一の方が複数の試験種に合格している場合は、それぞれの試験種に最終合格者としてカウントしています。
※資格の大原の合格実績には、公開模試のみの受講生、出版教材のみの購入者、資料請求者、情報提供のみの登録者、無料の役務提供者は一切含まれておりません。

札幌校オリジナルコースの詳細は、ホームページまたは生協設置の
大原のパンフレットをご覧ください。お気軽にお問い合わせください!

0120-597-008
〒060-0806 札幌市北区北6条西8丁目(北国銀行より、片側道すべり5分)
Webで簡単検索! 大原 札幌 検索



「総長の広い世界観が大学の価値」 本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「総長の広い世界観が大学の価値」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「総長の広い世界観が大学の価値」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

しっかりとした学部教育を

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

THE MAINSTREET

Powered by 北海道大学新聞編集部

年間記事アクセスランキング 2019年度(4月1日～3月31日を集計)

- 1位 2002年に春 道外62%
——北大一般入試前期合格発表
2020年3月7日
- 2位 通路の屋根に男性転落、容態不明
——図書館付近
2020年1月25日
- 3位 10 学部学科検討中、新年度の授業開始
——新型コロナウイルス
2020年3月18日
- 4位 北海道、そして人との出会いが人生を変えた
オクラホマ・河野真也さん【北大人に聞く】
2018年8月31日
- 5位 喫煙室、7月1日から廃止 屋外に喫煙所
3年後に全面禁煙も
2019年6月27日
- 6位 セイコーマート北海道大学店 オープン
2018年8月31日
- 7位 名和総長が休職 復職時期は未定
2018年12月30日
- 8位 北大、卒業式と入学式中止決定
2020年3月3日
- 9位 北大新入生の授業、1週間繰り下げ
2020年3月17日
- 10位 北大新入生の授業開始、5月上旬めどで検討
2020年3月27日

「ヒグマ学への招待」
——自然文化で考える

「ヒグマ学への招待」
——自然文化で考える

北海道大学出版会 〒060-0809 札幌市北区北9西8 北大構内 Tel. 011(747)2308 Fax. 011(736)8605 http://www.hup.gr.jp/

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

校友会エルム



「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

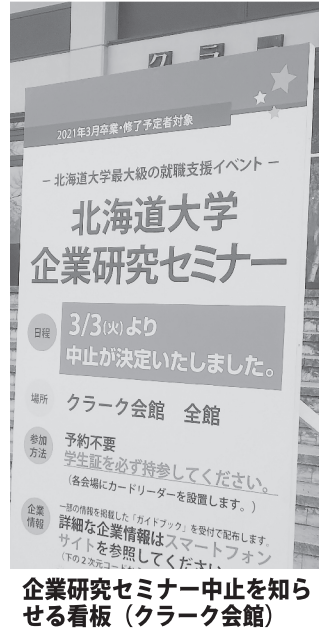
「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く



北海道大学 企業研究セミナー

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

北海道大学 企業研究セミナー

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

北海道大学 企業研究セミナー

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

北海道大学 企業研究セミナー

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

「しっかりとした学部教育を」
本学第15代総長 丹保憲仁氏に聞く

北大人に聞く 第8回 冒険家 三浦雄一郎さん



「若者よ、大志を抱け」

も本学の卒業生で、北海道の大自然の素晴らしさや本学キャンパスの自然の豊かさを聞いていた。「学校自体がまさにエルムのキャンパスで、世界的に見ても素晴らしいと思う」と今でも語る。

そして、本学にクラーク博士が残した「D.G.S. is ambitious」。敬三さんから聞いたこの言葉にも強く惹かれ、本学に入学した。

自分の分野で世界一に

プロスキーマーとして活躍後、エベレストに3回登頂し世界最高齢での登頂記録を更新した冒険家、三浦雄一郎さん。本学獣医学部の卒業生だ。その挑戦の原点は本学の切磋琢磨しあう環境だった。「北大人に聞く」第8回で今後の目標を含め聞いた。

北大に憧れて

青森県出身の三浦さんは、小学生の頃からスキーと登山を愛し、慣れ親しみ、高校では青森県代表のスキー選手になるほどだった。

1952年、複数のスキーの強い私立大学からのスカウトを断ってまで本学に入学。確かに当時の本学にもスキー部はあったが、北大と北海道への憧れが背中を押した。父の敬三さん

に出場するなど大いに成果を上げた。専門のアルペンスキー種目で実績を上げたほか、スキージャンプの全国的大会でも上位入賞した。

良い仲間にも恵まれ、中でもマネジャーだった本庄丞(すむ)さんと気が合った。夢や学問のことから私的な相談まで多くを語り合

い、「いずれ自分の分野で世界一になるんだ」とお互いにほらを吹いていた。卒業後、本庄さんは米国のマサチューセッツ工科大学で世界の最前線に立ち活躍する海洋学者となり、現在も研究を続けている。親交も途切れることなく続き、互いが互いの励みになっ

た。また、山岳部に友人が多くいたため、一緒に山や岩によく登った。山岳部員で同じ下宿の友人と共に、日高山脈のペタガリ岳を当時は前人未踏だったルートで登ったこともある。夏にはほぼ毎週、山岳部の友人達と岩穴で土曜日の夜を明かし、夜明けと同時に断崖絶壁を登った。山を登る楽しさをますます実感していった。

そうして大学2年生のとき、スキーや山の分野で世

エベレストへの挑戦

本学の獣医学部を卒業した1956年、同学部の薬理学教室で助手となった。だが、次第に「スキーや山の分野で、世界で誰も想像しなかったことをやってみよう」という思いが強まり、58年に26歳で安定した収入を得られる助手を辞職。プロスキーの世界へ飛び込み、世界各国のトップ選手と競うプロスキーマーになった。

イタリアのプロメーターランセというスキーのスピードレースでは世界新記録を樹立。七大陸最高峰のスキー滑降もすべて達成し、そのうち70年のヒマラヤ山脈のエベレスト滑降では、標高8000メートルという世界最高地点から滑降してギネス世界記録に認定された。

エベレスト登頂のきっかけは、エベレスト滑降のとき「いつか頂上まで登ってみたい」と思ったことだ。98年、65歳のときに一念発起し、5年後のエベレスト登頂を目標として藻岩山などでトレイニングを開始し

た。このことが計3回のエベレスト登頂への挑戦の始まりだった。

エベレスト頂上の酸素は地上の3分の1、気温はマイナス50℃。登ると20歳加齢するといわれ、高齢での登頂はまさに超人的な挑戦だ。病気や怪我、度重なる手術など「こんなはずではなかった」と思うような数々の苦難を乗り越え、エベレストの山路を「死ぬほど苦しい思い」をしながら歩んだ。大学時代に土台を築いた「世界一になる」という意志を貫き、70歳、75歳、80歳で計3回のエベレスト登頂に成功した。

90歳でキリマンジャロ

三浦さんからの北大生へのメッセージは「若者よ、大志を抱け」。かつて憧れた本学を象徴するフレーズであると同時に、三浦さんが半生をかけ体現した言葉でもある。

挑戦し続ける気持ちや体力を維持するため工夫し、世界で誰もしなかった、自分以外できないことをするように心掛けていた三浦さん。今の夢は、90歳になつたときに子供と孫との三代でキリマンジャロ(標高5895メートル)に登頂することだ。その夢のために現在も、トレイニングを続けている。



▲「夢をこぼせ」

みうら・ゆういちろう 青森県青森市出身。1956年に本学獣医学部を卒業後、同学部助手を経て世界トップレベルのプロスキーマーに。七大陸最高峰のスキー滑降を完全達成。2003年に70歳、08年に75歳でエベレスト登頂。13年、世界最高齢の80歳で3度目のエベレスト登頂を果たす。87歳。

北海道大学の学生の皆さんへ

スタッフ大募集

新聞配達

配達STAFF



お申込み・お問い合わせは、
LINEからでもOK!!

お申込み・お問い合わせ

新聞
配達

1人で黙々と! 残業なし! 短時間!
曜日選択OK! 帰省などの休みは当たり前

《学生さんへ》就活支援あり★体験入社も可♪

履歴書不要 週1日からスキマ時間活用◎

勤務内容▶朝日新聞の配達業務

給与▶①3:00~6:00/時給1080円 ②6:00~8:00/時給900円
③15:00~17:00/時給880円

待遇▶昇給、交通費全額支給、労災保険完備、新聞購読料補助制度あり、会社所有の車・バイク・自転車の使用可、自家用車の持ち込み可(持ち込み手当別途支給、ガソリン代全額会社負担)、体験入社制度あり(期間中の給与支給あり)他

配達エリア▶中央区全域

出前館
配達

北大の先輩が親切に教えます!
1日3時間からプライベート優先もOK

自動車免許があればOKです★友達との応募もOK♪

履歴書不要 週2日から、学校終わりや土日◎

勤務内容▶飲食店の配達業務

給与▶時給900~1200円

待遇▶昇給、交通費全額支給、労災保険あり(お仕事で運転中の事故があった時に備えた保険です)

資格▶要普通免許

道順はスマホがナビしてくれるので安心です。

勤務時間は11:00~22:00の間で選べます。

ユニフォーム貸与、帰省や研究などの長期休暇も大丈夫です!

お申込み・お問い合わせ 朝日新聞札幌中央販売株式会社 ☎011-631-7251 (担当:吉井) WEBサイト <https://asahi-sapporo.co.jp/>